

# 希心

宗教法人 希心會

## 立教の大綱

釋迦牟尼世尊の説かれた尊い妙法蓮華經に歸依し、自ら各家庭の御先祖を供養すると共に、普賢の行法を實踐することにより、各家庭の幸福、國家の安泰、世界平和の實現を期する。

## 教団の沿革

初代会長飯島將吉師、飯島清江婦師は、昭和二十八年二月十一日、神の御詞に基き、神奈川県厚木市に於て、希れなる心の会「希心会」を創立されました。

以来、宗教法人希心会はいずれの宗派にも属せず、在家の教団として独自の發展を遂げ、益々、教勢を拡張しつつあります。



三代会長 飯島祥匡 師



初代会長 飯島將吉 師



飯島佐起子 婦師



二代会長 飯島清江 婦師

## 入会の手続き及び佛具

入会される方は、会の維持費とし、一世帯一ヶ月百円の会費を納入していただきます。

希心会は在家の教団なので、会長以下、各支部長、幹部の全員が無報酬で行じております。

教団から給料をもらう専従者は一人もおりません。会の運営は会費の中で賄えるので、

会員からの寄付やお賽銭、物品等は一切いただきませんし、

佛具などの強要販売なども一切ありません。

ただし、所定の經卷、過去帖、数珠、おたすき、会章などは實費で購入いただきます。その値段は下記のとおりです。

|                   |        |
|-------------------|--------|
| ●經 卷              | 500円   |
| ●過去帖              | 550円   |
| ●お数珠(男物)          | 2,500円 |
| (女物)              | 2,100円 |
| (子供用)             | 1,500円 |
| ●おたすき             | 450円   |
| ●会 章              | 500円   |
| ●会 費(月額)          | 100円   |
| ●一部經(大)           | 2,160円 |
| (小)               | 1,836円 |
| ●御山修行の際の行衣(標準サイズ) | 3,700円 |

## 宗教法人 希心會

### 希心會本部

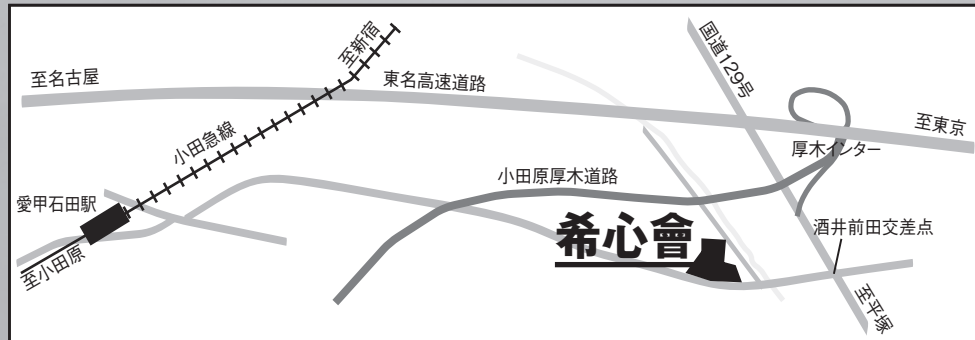
〒243-0022 神奈川県厚木市酒井969-1  
046-227-1800

### 希心會道場

〒243-0022 神奈川県厚木市酒井950-1  
046-228-3355

### 希心會ホームページ

URL <http://kishin.or.jp>



## 希心の教義

希心の教えは、立教の大綱に示されてある通り、釋尊の説かれた妙法蓮華經（法華經）を基とし、各自が各家庭に於て御先祖を供養することに始まります。

各家庭にはそれぞれ億々萬劫といわれる遠い過去から現在に至るまで、数々の悪因縁が積み重なっております。この悪因縁によりさまざまな苦が生じます。このまつわる悪因縁を洗淨するには、釋尊が「諸經の中の王なり」此の經は能く一切衆生を救いたもう者なり」として惡世末法の衆生のために説き遺された法華經に歸依、随順し、その教えを正しく實踐することが第一です。

希心会が他の在家法華經系教団と異なる点は、法華經二十八番の普賢菩薩勸發品に示されている通り、佛滅後二千年の後の惡世末法の世において、釋尊の身替りとして法華經行者を守護する役を持って出現される普賢大菩薩を、希心会の御守護尊神として鎮座いただいていることです。

これは非常に重大なことで、初代飯島將吉会長は「普賢大菩薩ノ御守護ナクバ眞ノ法華經行者ニ非ズ。実ニ有難キ事ニテ我が希心会ノミノ御守護神ナリ。目出度クモ有難キ事ナリ。我等導師一同ハ、ヨリ以上艱難努力ナシ、随一ナル法華經道場トナサレシ事願ウモノナリ」と書き残されています。

その法華經普賢行の大義は、菩薩行にあります。すなわち世を救い、人を救わんとする釋尊出世の大誓願を我がものとし、惡世末法の世において、自身が救われるには自身の先祖を正しく供養するのみでなく、他家の御先祖を救うことによって、各自各家庭の悪因縁も洗淨され懺悔が届き、幸福な家庭が築かれるのです。

希心会はこの因縁洗淨のため、特に他の教団にはみられない行法、すなわち、普賢大菩薩の御守護により、正しく靈界の神佛の教え、先祖の御詞、御心を取り次ぐ靈感の御指導を常時いただいております。何十人という靈感者が日夜、その行に励みしかも一切の金銭、供物をいたしません。

この御指導という行によって、御經卷の供養だけでは成佛できない御先祖、御因縁を名乗っていただき、御法名を送らせいただき、成佛いただきます。

また希心会の最大の行法として、春の清澄山、秋の身延七面山という靈山での修行があります。この修行に参加することによって、信者はさらに深いところの因縁の成佛がいただけます。したがって、この希心の教えに素直に随順し、行ずるならば、各自の寿命も増益され、各家庭の幸福が得られることになります。

各家庭の安泰が成就されるなら、国家も安穩となる道理です。ひいては世界の平和につながります。

## 供養の仕方

總戒名



希心会では、自分の父方、母方の代々の御先祖（血縁、婚姻関係等）をひとつにまとめた總戒名を祀って、家庭で御經を上げ供養する事が基本となります。

- ①題目の唱え方（題目は次のように唱えます。これが三唱です。眼を閉じないこと）  
南無妙法蓮華經南無妙（ナムミョウホウレンゲーキョウナムミョウ）※ここで息をつく  
法蓮華經南無妙（ホウレンゲーキョウナムミョウ）※ここで息をつく  
法蓮華經（ホウレンゲーキョウ）※ここで終る

- ②お經卷の上げ方  
朝の供養を基本とします。タスキを掛け、お数珠を持ち、法座に正対、一礼し、題目を三唱、それからお經卷を上げます。  
お經卷は最初の天津祝詞から最後の祈願唱まで、省略せず心をこめ、急がず読誦いたします。  
お經卷は一品（一章）の終りに必ず題目を三唱して次に移ります。

- ③お数珠の持ち方  
房が三つの方を右手の中指に掛け、お数珠を一つ綾にして片方を左手の中指に掛けます。  
④タスキの掛け方  
希心会と名前の書いてある方を前にし、左肩から右脇下に掛けます。しまうときは、裏返しにし、四つに畳みます。

- ⑤お燈明、お線香の上げ方  
お燈明は通常、一本とし、お線香は三本横に並べて立てます。  
⑥總戒名の前にコップに水を供えます。

※備考  
希心会はいずれの宗派にも属さず、先祖の供養を希心の正しい行法で自ら行うことが根本であり、あなたの家が何宗の檀家になっても構いません。したがって葬儀などの仏事は、通常各家庭の宗派の方法で執り行われています。

### 主な年中行事

#### ●新年の儀式

1月、元旦に午前11時より道場で普賢菩薩様の新年の御詞をいただき、祈願の經文を上げます。

#### ●開教記念日

2月11日午前9時より記念式典ならびに午前10時より午後4時迄説法会が開かれます。

#### ●清澄山祈願参拝

原則として、毎年4月、5月の2ヶ月にわたり各支部毎に定められた日に参拝します。（1泊2日）

#### ●清澄山祈願参拝下山祝賀説法会

原則として、6月の第1日曜日から第2日曜日に道場で午前10時から午後4時まで説法会が開かれます。

#### ●身延七面山祈願参拝

原則として、毎年9月、10月の2ヶ月にわたり、各支部毎に定められた日に参拝します。（1泊2日）

#### ●身延七面山祈願参拝下山祝賀説法会

原則として、11月の第1日曜日から第2日曜日に道場で午前10時から午後4時まで説法会が開かれます。

#### ●本部法座日

毎月11日、20日の2回、午後12時30分より午後4時まで、道場で読經、説法が行われます。

#### ●各支部法座日

各支部毎月1回所定の日に開かれます。